

情報網と交通網の充実化を実現するための研究組織の創設について (改訂継続)

イベント、店舗、駐車場、災害など桐生市内の様々な情報を横断的に一元化するシステムと、地域内を全循環できる移動網の整備は、将来の都市像を構築するうえでも不可欠であり、官民連携による研究組織（戦略室）の創設を要望いたします。

長い歴史に裏打ちされたものづくりの文化や、桐生祇園、桐生八木節まつりに代表される活発な地域行事など、桐生市は他地域に誇る独自の魅力を持ち、それらを通じて関係人口の獲得から近年では移住者による起業機会も増加しています。一方で各々の情報は散発的でリアルタイムに発信されず、地域内でのみ共有されることが多いため、市外・県外の方々に対して十分な認知がなされていない事があるかと思われます。さらに、地域内の移動網の整備が不十分なため、せっかくの来桐者が市内を循環できず滞在時間も限られるなど、商機を逸するケースも見受けられます。また、拠点間を公共交通ネットワークで結び、地域の連携による持続可能なまちを目指す桐生市コンパクトシティ計画を策定しているものの具体的な取り組みや将来像が分かりにくく感じられます。

桐生独自の情報の共有化と交通網の整備は、今後、市民及び来桐者にとって災害時における避難誘導の円滑化、買い物や暮らしの利便性の向上に向けて喫緊の課題であります。

情報網と交通網の整備に対する実感度の向上のため、Maas やD X を駆使した複合的で骨太の戦略が期待されております。よって研究組織（戦略室）の早期立ち上げについて、何卒ご検討いただけますようお願いいたします。

桐生市からの回答

(官民イベント等の情報集約について)

官民のイベント等の情報集約については、当該情報に対するニーズの把握やウェブかアプリかといった媒体の選定、サイトの運営方法など提案の具現化には解消すべき課題があるものと考え、今後、官民協働の取り組みとして、検討・研究する余地があるものと考えます。

[回答担当] 共創企画部魅力発信課魅力発信担当

(情報の一元化について)

桐生市内の様々な情報を一元化することにより、情報の一貫性や即時性の向上が図れます。また、公開型GIS（地理情報システム）やSNS等を効果的に活用することにより、横断的で利便性の高い情報を市民の皆様や来桐者へ発信できるものと考えられます。

ご指摘いただきましたご意見等を含め、情報の一元化につきまして引き続き研究を進めてまいります。

[回答担当] 総務部DX推進室情報システム担当

(交通網の整備と研究組織創設について)

地域公共交通の維持・充実は、交通分野の課題解決にとどまらず、まちづくり、観光振興、さらには健康、福祉、教育、環境等の様々な分野で大きな効果をもたらすことから、それぞれの分野に関係する多様な人たちとの協議が必要となります。

そうした中、本市は令和5年12月に策定した、交通施策の今後あるべき姿を描く「桐生市交通ビジョン」を基本構想とし、有効適切な交通施策の実現に向けた取り組みの目的や内容などをより具体的に提示する「桐生市地域公共交通計画」を令和6年6月に策定いたしました。

本計画の策定を進めるにあたり、「桐生市地域公共交通活性化協議会」(法定協議会)のなかで、交通事業者、各種団体や地域の代表、関係行政機関など様々な方と協議を行っており、計画に位置付けた事業に関する協議を行っているところです。

また、令和8年度には、おりひめバス路線等の再編を検討する専門的組織の分科会を設置し、協議を進める計画としております。

移動のDXを進めることにより、移動の効率性・利便性を高めることは重要であると認識しており、この分科会の中で、商工会議所等の関係者を交えながら「移動のDX推進」も含め、検討してまいりたいと考えております。

[回答担当] 共創企画部交通ビジョン推進室交通ビジョン推進担当